

「日本再生」成長戦略が本質的課題  
香川三区選出 衆議院議員 大野 敬太郎氏



自民党の若手議員の中では  
政策マンとして定評のある大野氏

国家戦略本部の  
プロジェクトに参加

申年の新しい年を迎えました。謹んでお慶び申し上げますとともに、皆様の御祈願されたことが成就されますよう、心からお祈り申し上げます。併せて、旧年中は皆さまには大変お世話になりましたこと、心から厚

く御礼申し上げます。  
3年前の正月は日本にとって象徴的な転換期でした。それまで20年以上も日本を覆っていた閉塞感という名の得休のしれない霧が、明らかに晴れ始めた時期であったことを私は初当選直後の国会議員として初々しい興奮と期待とやる気に満ち溢れた思いで迎えたことをいまだに鮮明に覚えています。

改革とは全ての人の  
同意はあり得ない

日本再生の好循環を生んでいくには成長戦略が最も本質的な課題であり、経済政策と人口政策の密接かつ複雑な連接を解決することこそが主要な課題であることは誰もが気づいていました。それが地方創生と呼ばれているもので、地方活性化とは一線を画する大プロジェクトが始まったわけです。その為、私自身は、党本部の国家戦略本部や人口減少対策議員連盟にて中長期課題を抽出して対策を提言するプロジェクトに多くの時間を費やしましたし、それに従って実行すべき中小企業政策、労働政策、科学技術政策、農林水産政策、税制などを中心に活動を絞って参りました。  
一方、改革の断行も必要です。小手

先の変化だけで対応しようとしても茹でガエルになることが見えている場合は、大改革を断行せざるを得ません。そして改革とは、第一に全ての人の同意はあり得ない。全員が同意するものであれば、それはもはや改革ではなく怠慢であり不作為です。しかしプラカードを掲げて後者だと主張すれば済むほど甘い時代ではありません。この3年間で、農政改革、安保改革、労働改革などの分野で改革が断行されてきました。

そして改革とは、作家の塩野七生さんの言葉を借りれば、第二に、効果が見えてくるまでに長い期間を要するものなので、その間の人々の同意を維持し続けていくための対策を忘れるわけにはいけません。政治とは、特に危機の時には、何をやるかという目的も重要だし、それをどうやるかという手段も重要ですが、それをどうやり続けるかという継続性が重要になるのです。だからこそ、改革によって不安だと思われた方には丁寧な説明することが必要です。改革で短期的に直接不利益を被った方がいるとすれば、時間を定めて手当てをすべきですし、もし将来被ったならば手当てしますという方針を示すのが政治というものです。

香川県建築設計協同組合  
香川県営住宅指定管理者

代表理事 斉藤 孝

高松市天神前5-18  
TEL087-812-3035

カッターユニット・産業用刃物・精密加工部品の製造販売

株式会社大矢根利器製作所

本社工場 香川県三豊市仁尾町仁尾丁396番地  
TEL(0875)82-3101 FAX(0875)82-4326  
URL <http://www.oyaneriki.co.jp>  
東京営業所 東京都千代田区岩本町2-11-7 A&Kビル6F  
TEL(03)5820-9511 FAX(03)5820-9514







地方創生特別委員会にて質問に立った大野敬太郎衆議院議員

## 民間・地方自治体との連携肝要

昨年末に大筋合意した環太平洋経済連携協定（TPP）交渉では、日本は相当頑張ったと言えます。例えば農産品の関税非撤廃率を見れば、他の交渉国に比べて突出して高い19%となっています（頑張ったカナダでさえ5.9%）。関税撤廃をする品目の即時撤廃率も日本が突出して低く51%（他国平均85%）。日本は国際社会の中では相当我儘を聞いてもらっていることが分かります。一方で、国内産業として農産品の一部では影響をより受けそうな分野も存在しますが、そうした分野は確実にチャンスも拡大しています。政治は、当初の変化に民間が対処しようとする振興策を打ち出すべきは論を待ちませんが、民間・地方自治体などと連携したチャンスの拡大こそ積極的的重点的に支援すべきだと思います。これは地方創生には必須となる地域の自律性確保の必要条件だからです。

では地域の自律性は何かと言えば、最も簡単に言えば、産業から見た時の地域の稼ぐ力と働き手から見た時の住める環境が好循環を生んでいることです。その結果、地方財政が健

全化し、新しいアイデアが実行されることが更に望ましい。基本軸はこの方向で考えるべきです。逆回転の考え（地方財政健全化すれば産業は振興される）はあくまで副次的活用方法だと考えています。ではどのように基本循環が生まれるのかというと、敢えて1つだけ挙げれば、地域間連携が重要です。そこでよく耳にするのが隣の町との連携の話ですが、物理的隣接地との連携を進めるだけでは広域行政の延長の事しかできません。あらゆる角度で連携可能な自治体で、それぞれ全国から、あるいは世界規模で見つけ出すことが必要になります。四国一体化という観点は重要ではあります。私自身は現在は注目しているものではありません。

## 地方へ観光誘致やCIIQの整備

地域では観光政策も注目されています。現在政府は訪日外国人人数3千万人の高みを目指しており、実際に急激に増加していますし、それが地方の観光客の増加にも繋がっています。まず第一に、外国人観光客の誘致にもビッグデータの活用が必要になってきました。世界の旅行会社や航空会社はすでに活用を始めています。



西日本を代表する観光地、金刀比羅宮



観音寺市琴弾八幡宮のちのぼり祭

第二に、首都圏に観光客を誘導し、そこから地方に再誘導する観光政策を構築する必要があります。そのためには、海外での観光ハブの構築とともに地方でのCIIQ投資も必要になります。しかし予算がないと嘆かなくてもいいと私は思っています。例えば日本全体で見ると、仮に1千万人増えたとして1人当たりの消費が20万円弱です。ですから、年間2兆円弱の観光収支の赤字になる。そう考えれば、地方への観光誘致やCIIQ整備にその程度

の予算をかけても全く割に合うことになる、私は以前から党内で主張しています。いずれにせよ、地方創生という経済政策プラス人口政策の複合政策を前進していくことが今の日本にとって最重要課題です。そしてそのためには、全員が目を輝かせて前向きになる必要があります。もちろん政治批判をするなどということではなく、政治批判も起さないような納得感のある政策を断行していく他ありません。



医療法人社団 昌樹会

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科

# ウツミ整形外科医院

理事長 内海武彦 院長 内海昌浩

〒764-0027 香川県仲多度郡多度津町道福寺132

TEL 0877-33-1510 FAX 0877-32-2304

# 中央開発株式会社

代表取締役会長 橋 節 哉

事業内容

●丸亀パブリックゴルフコース・練習場 ●冷蔵倉庫 ●不動産事業

〒763-0062丸亀市蓬萊町56番地

TEL.0877-23-8244 FAX.0877-23-8201